

2018(平成30年)年度 事業報告

特定非営利活動法人 杉並いずみ

第一・第一(堀ノ内)・第二(方南)

特定非営利活動法人杉並いずみ 法人スローガン

- ・自信を持って暮らし、自分自身を価値ある大切な存在だと感じていけるよう、一人ひとりのありのままを大切にします。
- ・毎日の作業の中にあるどんな小さなことも、自分でできることは自分で、を大切にします。
- ・やってみたいという気持ち、チャレンジすること、を大切にします。

1. 全体状況

運営面で理事長、施設長のもと運営・経営を行い、運営方針・職員への指示がより明確になり、3事業所間の機能が少しずつではありますが安定していきました。また30年度も職員の退職等入れ替わりがありましたが、年度末にはほぼ安定してきました。平成30年度も現体制のもと利用者が事故なく元気に通所できる職場環境づくりを第一に考え、施設の運営を行ってきました。その為には職員の定着、人材の育成が重要でありそのために必要な研修会、諸行事への積極的な参加を行いました。会議体については、現場の常勤・非常勤職員で構成する支援員会議、3所の代表者と理事長、施設長、事務員で構成する運営会議、職員全員参加の職員会議を毎月行い、現場の意見を吸い上げ運営に生かしました。年度末にはご家庭向けに施設満足度調査を行いました。

職場の環境改善として第一和泉に防犯カメラの設置を行いました。経理面では賃金関係を除く経理をより明確化するため引き続き、税理士法人SVCに依頼、また労務関係を森田社労士に依頼し、職員就業規則・パート就業規則等の整備を行いました。利用者の自主生産品として第一和泉はせんべい、第一堀ノ内はビーズ、第二方南は手織り手染め製品を確立し、本年度も順調に売り上げを伸ばしました。保護者については保護者連絡会を年5回行い、その都度保護者のご意見をお聞きし施設運営に反映しました。また、保護者連絡会の無い月には事業所報告を配布し、施設状況を細かく情報発信しました。

今後の施設運営においては昨今の人材不足による将来の見通しを考慮しながら、利用される方の重度化や高齢化に伴う事業の在り方等、未来志向の事業所設立等の運営について中長期的に検討する必要があると考えています。

2. 本年度の重点目標に対する結果

(1) 利用者支援

年2回の個別面談と三者面談に加え、3か月ごとのモニタリングを行うことで個別支援計画の進捗状況を確認し、利用者からその都度希望を聴いて計画に反映し支援を行いました。三者面談においては可能な限り相談支援事業所の担当者も同席いただき、四者面談のような形を取りました。面談時就労希望について確認しましたが、直近での就職の希望がなかったため、職場見学や実習等は行いませんでした。

(2) 施設機能の充実

利用者の休憩所の設置までには至りませんでした。

(3) 関係機関との連携

仕事ねっと会議、杉並区ネットワーク会議に参加することで杉並区内の作業支援・就労支援の情報を得て新たな販売先の開拓を行いました。杉並区内施設長会、障害の枠を超えた施設による会合、入所説明会、入所調整会議、サービス給付費説明会等に参加することで区内施設とのネットワークを構築しました。また、近隣の他法人が運営する「マングローブ」喫茶店に自主製品のせんべいをおかせていただくことになりました。また世田谷区砧工房分場キタミ・クリーンファームよりサラダ菜等の野菜を買い取り、毎週販売することも始めました。

(4) 地域との連携

近隣町会の祭りに定期的に参加して交流を深めました。

(5) 人材育成

職員個別の研修計画「業務目標・成果シート」を作成し、年2回職員と施設長との個別面談においてその進捗状況を確認しました。シート作成により個人の業務目標が明確になり、育成の手助けになりました。

3. 事業概要

(1) 設置の目的

就労継続支援B型事業

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行います。

(2) 名称及び所在地等

- ①名 称：杉並いずみ第一（和泉）
所在地：東京都杉並区和泉4-4-4
電 話：03-5377-2121
E-mail：suginami-izumi1@fuga.ocn.ne.jp
- ②名 称：杉並いずみ第一（堀ノ内）
所在地：東京都杉並区堀ノ内3-9-11
電 話：03-3317-0831
E-mail：izumi-2@herb.ocn.ne.jp
- ③名 称：杉並いずみ第二（方南）
所在地：東京都杉並区方南1-52-20
電 話：03-3321-4485
E-mail：tetote@chime.ocn.ne.jp

(3) 設立

- ① 開 設 昭和52年3月
② 事業種別 障害福祉サービス事業（就労継続支援B型事業）

(4) 施設の規模

- ①杉並いずみ第一（和泉）
敷地面積 291,61 m² 建物延べ面積 334,75 m²
建築面積 168,75 m² 竣工 昭和63年10月
- ②杉並いずみ第一（堀ノ内）
面積 162,85 m²
- ③ 杉並いずみ第二（方南）
面積 245,66 m²

(5) 職員構成

① 職員構成 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

常勤 13 名 非常勤 20 名 計 33 名

職 種	和泉	堀ノ内	方南
管理者 (施設長)	1 (兼務)		
施設長付き	1		
サービス管理者	1 (兼務)		1 (兼務)
主任支援員	1		
常勤支援員	4	2	3
目標工賃達成指導員	1	1	1
非常勤支援員	6	4	5
事務局事務員	2 (兼務)		
事務局添乗員	4 (兼務)		

②職員人事

年 月 日	氏 名	職 種	事由	備 考
H30. 6. 30	織田 仁	第一常勤支援員	退職	
H30. 6. 30	横田 直美	第一非常勤支援員	退職	
H30. 8. 1	水澤 晶子	第一常勤支援員	採用	
H30. 8. 1	中田 智子	第一非常勤支援員	採用	
H30. 8. 3	中田 智子	第一非常勤支援員	退職	
H30. 8. 6	布野 勝也	第一常勤支援員	採用	
H30. 8. 31	岩船 貴行	第一常勤支援員	退職	
H30. 8. 31	大坂 真由	第一非常勤支援員	退職	
H30. 11. 1	塚原 美智代	第一非常勤支援員	採用	
H30. 11. 7	篠 由紀子	添乗員	採用	
H30. 11. 30	雨宮 ひとみ	添乗員	退職	
H30. 12. 3	塚原 美智代	第一非常勤支援員	退職	
H30. 12. 31	大坂 靖子	第一常勤支援員	退職	
H31. 1. 1	関口 賢治	施設長付き	採用	
H31. 1. 8	大江 萌	添乗員	採用	
H31. 1. 8	島田 理沙	第一非常勤支援員	採用	
H31. 1. 22	諸石 晴美	添乗員	採用	

H31.1.30	大野 麻菜	第一非常勤支援員	採用	
H31.1.31	篠 由紀子	添乗員	退職	
H31.2.12	笠谷 貴男	第一常勤支援員	採用	
H31.3.31	島田 理沙	第一非常勤支援員	退職	
H31.3.31	工藤 綾子	添乗員	退職	
H31.3.31	水澤 晶子	第一常勤支援員	退職	
H31.3.31	下之蘭俊一郎	施設長	出向 終了	東京都手をつなぐ 育成会へ

(6) 利用者状況 (平成31年3月31日現在)

① 利用対象者

ア. 利用対象者

【就労継続支援B型事業】

- ・区内在住の、主に知的障害者のうち、就労経験がある者であって、年齢や体力の面で一般企業に雇用されることが困難となった者。
- ・就労移行支援事業を利用（暫定支給決定での利用を含む）した結果、B型の利用が適当と判断された者。

イ. 定員 80名

ウ. 現員 67名

② 性別・年齢別構成

【就労継続支援B型事業】

平均年齢：(男性) 45.9歳 (女性) 45.0歳 (全体) 45.6歳

	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	合計
男性	2	9	2	8	10	10	41
女性	0	4	6	6	6	4	26
合計	2	13	8	14	16	14	67

③ 障害程度

愛 身障	なし	1級	2級	3級	4級	5級	合計
	2度	15	1	0	0	0	0
3度	23	1	0	0	1	2	27
4度	22	0	1	0	0	1	24
合計	62	2	1	1	2	1	67

④ 障害支援（程度）区分

区分	6	5	4	3	2	1	非該当	未認定	合計
第一	0	2	14	14	8	6	6	0	50
第二	0	0	4	9	2	0	2	0	17
合計	0	2	18	23	10	6	8	0	67

⑤ 入所前の状況

	特別支援 学校他	通所施設・ 入所施設	普通高 校・大学	就労	在宅	合計
第一	29	0	5	16	0	50
第二	11	0	2	4	0	17
合計	40	0	7	20	0	67

⑥ 入退所等状況表

【第一】

月	定員数	入所 人数	退所 人数	月末 在籍数	開所日	出席 延人数	欠席 延数	出席 率	利用率
4	60	1	0	51	20	879	141	86%	73%
5	60	0	1	50	21	942	117	90%	75%
6	60	0	0	50	21	941	110	90%	75%
7	60	0	0	50	21	935	115	89%	74%
8	60	0	0	50	20	878	126	88%	73%
9	60	0	0	50	18	778	122	86%	72%
10	60	0	0	50	21	956	94	91%	76%

11	60	0	0	50	21	952	98	91%	76%
12	60	0	0	50	19	860	90	91%	75%
1	60	0	0	50	19	809	141	85%	71%
2	60	0	0	50	19	828	122	87%	73%
3	60	0	0	50	20	875	125	88%	73%
合計	—	1	1	—	240	10,633	1,401	88%	74%

【第二】

月	定員数	入所 人数	退所 人数	月末 在籍数	開所日	出席 延人数	欠席 延人数	出席率	利用率
4	20	1	0	17	20	305	38	90%	76%
5	20	0	1	16	21	307	51	91%	73%
6	20	0	0	16	21	305	32	91%	73%
7	20	0	0	16	21	294	42	88%	70%
8	20	0	0	16	20	287	33	90%	72%
9	20	0	0	16	18	259	29	90%	72%
10	20	1	0	17	21	316	42	89%	75%
11	20	0	0	17	21	313	44	88%	75%
12	20	0	0	17	19	279	44	86%	73%
1	20	0	0	17	19	257	66	80%	68%
2	20	0	0	17	19	287	36	89%	76%
3	20	0	0	17	20	299	41	88%	75%
合計	—	2	1	—	240	3,508	498	88%	73%

⑦ 通所手段

方法	徒歩	路線バス	電車	バス電	送迎車	合計
第一第二	21	21	8	4	13	67

⑧ 相談支援事業所

事業所名	第一	第二	合計
杉並障害者自立生活支援センターすだち	13	3	16
あおいサポートステーション	4	3	7
すぎなみ障害者生活支援コーディネートセンター（すぎコ）	3	2	5
株式会社 よりみち	5	1	5
相談支援事業所 HUG はぐ	5	0	5
障がい者ケアマネジメント友愛	3	0	3
済美福祉相談室	4	0	4

いたる相談室	3	1	4
ヘルプメイト井草相談支援部	0	3	3
キラキラステーション	2	1	3
ひゅーまん地域生活相談室	1	0	1
スギコーケアセンター	2	0	2
相談支援事業所 かすみ草	2	0	2
相談支援事業所 なでしこ	1	0	1
相談支援事業所 リリーフ	0	1	1
Team. shien. team. shien. m. a	0	1	1
たんぼぼの会	0	1	1
未定（セルフ）	2	0	2
合計	50	17	67

⑨ 退所理由

	一般 就労	保護的 就労	区外 転居	結婚	入院	通所施 設移動	入所施 設移動	在宅	死亡	合計
第一第二	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2

⑩ 生活の場

	家庭	GH	単身	合計
第一第二	48	18	1	67

⑪ ぜんち共済加入状況（平成31年3月31日現在）

加入者 97名（施設負担）

4. 事業実績

（1）活動プログラム

公園清掃やリズム体操は年間のスケジュール通り行いました。1日クラブの行先については、利用者の希望を取り各所2回ずつ行ないました。ウォーキングについては、作業の進捗状況を見ながら行いました。

項目	施設名	実施月・場所	回数・参加人数
公園清掃	第一和泉	べんてん橋・和泉二丁目公園	104回
	第一堀ノ内	堀ノ内東公園	104回
	第二方南	上水橋・弁天橋東・泉南公園	104回
リズム体操 (講師招聘)	第一和泉	方南会館ホール	10回
	第一堀ノ内	自施設	10回
	第二方南	自施設	10回
一日クラブ	第一和泉	7月三菱みなとみらい技術館	41名
		11月外食・カラオケ	41名
	第一堀ノ内	9月外食・カラオケ	19名
11月横浜・中華街		19名	
第二方南	9月外食・カラオケ	18名	
	12月東京タワー	20名	
音楽鑑賞	第一堀ノ内	6月ハンドベルコンサート(こすもす生活園)	12名
ワークショップ	第二方南	8月女子美術大学	17名

週間プログラム (10:30～と 14:30～それぞれ 10 分間の休憩)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:50	体操 朝礼 (ウォーキング) 公園清掃 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 公園清掃 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 作業
11:30 ~ 13:30 交代制	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩
12:30~	作業	作業	作業	作業	作業
15:50~	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼
16:00	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅

(2) 行事

宿泊旅行の行先については、朝礼や夕礼等を通じて利用者と話し合っ決定しました。いずみまつりでは、利用者ひとりひとり販売の仕事を時間制で行いま

した。新年会では、永年勤続賞、皆勤賞、精勤賞をそれぞれ授与し、成人者のお祝いを行いました。

項目	施設名	実施月・場所	参加人数
歓迎会（入所式）	3所	4月方南会館ホール	84名
宿泊旅行	第一和泉	9月長野・諏訪	40名
	第一堀ノ内	10月熱海	17名
	第二方南	6月山梨石和温泉	20名
いずみまつり	第一和泉	6月	157名
新年・新成人を祝う会	3所	1月方南会館ホール	85名

（3）就労支援の取り組み

本年度の三者面談や個別面談により就労希望者を確認したところ、積極的な希望者がいなかったため実施には至りませんでした。

（4）工賃アップの取り組み

第一和泉の自主生産品であるせんべいの作業工程を整備し、アレルギー対応のせんべいを新商品として開発しました。第一堀ノ内のビーズアクセサリーは定番商品も決まり、売り上げも少しずつ上がってきています。第二方南は年末の展示即売会に限らず、年間を通しての注文が増えました。（以下に販売、工賃を記載）

【第一和泉】

自主生産作業：せんべい

受託作業：児童向け雑誌の付録袋入れ、タオル折りと袋入れ、各種DM封入、おかばっく等

清掃作業：べんてん橋公園、和泉二丁目公園清掃（杉並区より受託）

【第一堀ノ内】

自主生産作業：ビーズアクセサリー

受託作業：児童向け雑誌の付録袋入れ、タオル折りと袋入れ、各種DM封入等
清掃作業：堀ノ内東公園（杉並区より受託）

【第二方南】

自主生産作業：手織り、手染め、フェルトボール作り等

清掃作業：上水橋公園、弁天橋東公園、泉南公園（杉並区より受託）

【生産・販売全体状況】

① 施設外販売

日時	施設名	内容	売上
4月22日	第一	わい！わい！わだまつり	16,736円
4月28日	第二	Tunagari walk in yokohama2018	34,022円
5月7～10日	第二	ハッピースマイルフェスタ（委託）	12,700円
5月17日	第一和泉	杉並区手をつなぐ育成会総会	15,000円
5月17日	第一和泉	品物フェア	5,700円
5月27日	第一第二	方南町日曜まつり	23,350円
6月24日	第一第二	妙法寺祭り	65,450円
7月15日	第一第二	方南町日曜まつり	16,950円
7月19日	第一和泉	品物フェア	5,100円
7月29日	第一	福社会館夏まつり	15,200円
8月25～26日	第一	高円寺阿波踊り	82,355円
9月23日	第一第二	方南町日曜祭り	27,600円
10月7日	第一	世田谷区立砧工房蔵祭り	18,200円
10月14日	第一第二	お会式・一乗祭り	78,450円
10月14日	第一第二	すぎなみ舞祭2018	77,810円
10月20日	第一	済美バザー	23,350円
10月27～28日	第二	女子美術大学短期大学部学園祭	94,450円
11月3～4日	第一第二	すぎなみフェスタ	150,850円
11月17日	第一	すぎのき生活園「杉実祭」	30,000円
11月25日	第一	方南町日曜祭り	16,650円
11月30日～12月1日	第二	杉並いずみ第二展示即売会	484,520円
12月2日	第一第二	ふれあいフェスタ	47,171円
12月3～7日	第二	ハッピースマイルフェスタ	50,100円
12月3,4日	第一第二	品物フェア	28,050円
12月15日	第二	ワークショップ	9,000円
12月16日	第二方南	方南町クリスマスマーケット	17,325円
2月7日	第二方南	品物フェア	46,400円
合計			1,492,489円

【工 賃】

【第一】

月	定員	月末 現員	給与 払数	工 賃			
				総額	平均額	最高額	最低額
4	60	51	49	457,518	8,529	21,125	336
5	60	50	49	413,744	7,600	21,945	608
6	60	50	49	565,938	10,944	25,232	1,485
7	60	50	49	425,214	7,841	22,389	554
8	60	50	49	459,789	8,912	22,507	1,074
9	60	50	49	1,309,074	25,671	60,589	4,672
10	60	50	50	651,700	12,679	27,240	2,240
11	60	50	50	612,435	11,466	31,740	1,527
12	60	50	50	568,878	10,370	29,524	1,245
1	60	50	50	577,320	11,194	30,670	1,998
2	60	50	49	448,937	9,162	23,779	1,566
3	60	50	50	1,365,556	27,311	56,000	3,000
合計			593	7,856,103	13,248		

【第二】

月	定員	月末 現員	給与 払数	工 賃			
				総額	平均額	最高額	最低額
4	20	17	17	140,535	8,267	15,230	800
5	20	16	17	142,130	8,361	14,110	200
6	20	16	16	124,055	7,753	13,170	990
7	20	16	16	135,235	8,452	13,290	1,100
8	20	16	16	135,550	8,472	14,300	2,200
9	20	16	16	420,080	26,256	160,040	4,760
10	20	17	17	154,200	9,071	13,485	1,700
11	20	17	17	157,395	9,259	14,170	1,320
12	20	17	17	130,885	7,699	13,660	1,440
1	20	17	17	119,810	7,048	12,670	660
2	20	17	17	128,035	7,531	12,630	1,320
3	20	17	17	664,270	39,074	240,000	5,000
合計	20	17	200	2,452,180	12,261		

5. 権利擁護

(1) 事業所としての取り組み

年度初めの職員会議にて「職員倫理規定」および「杉並いずみサービスガイドライン」の読み合わせを行いました。また3ヶ月に一度職員会議の冒頭において、職員全員に「虐待防止セルフチェックリスト」の記入を行ってもらい、終了後に施設長より一つ一つ解説を行いました。利用者や職員の孤立を防ぐために、非常勤職員を多く採用し、基準以上の職員配置を行うことで死角を作らない体制を作りました。今年度虐待事案は発生しませんでした。虐待防止や事故防止のための更なる強化のために支援体制を毎月の支援員会議にて話し合いました。また、権利擁護・虐待防止の外部研修に2回参加し、研修報告を職員会議内で行いました。

(2) 虐待防止委員会

- ① 今年度は2回実施しました。法人が定めた「虐待防止要綱」の内容を委員で確認し、以下の内容を実施しました。
- ② 職員チェックリストの実施（年3回）
- ③ ケース会議を実施。（毎月各所）
- ④ ヒヤリハットの分析としてリスクマネジメント委員会を実施（運営会議内）
(虐待防止責任者)

氏名	職種
下之蘭 俊一郎	施設長

(虐待防止委員会)

役割	氏名	職種
委員長	下之蘭 俊一郎	施設長
委員	大内 留美子	主任支援員
委員	辻村 佳子	事務員
委員	吉田 安利	支援員
委員	大久保 江理子	支援員

(3) 苦情解決

利用者からの苦情解決実施要項により苦情解決責任者・苦情解決受付担当者を配置すると共に、職員会議にて確認し、職員の共通認識としました。また苦情の受付窓口について下記の内容を保護者に配布し、施設内にも掲示しました。また利用者には苦情解決第三者委員による施設の利用についての聞き取りを行い、保護者には苦情解決のしくみを理解してもらうために保護者会において説明しました。また、苦情・相談等受付書等を整備することで記録として残しました。

① 苦情解決体制

ア

役 割	氏 名	職 種
苦情解決責任者	下之藺 俊一郎	施設長
苦情受付担当者（第一）	大内 留美子	主任支援員
苦情受付担当者（事務）	辻村 佳子	事務員
苦情受付担当者（堀ノ内）	吉田 安利	支援員
苦情受付担当者（第二）	大久保 江理子	支援員

イ. 杉並区関係相談・苦情窓口

杉並区保健福祉サービス苦情調整委員（連絡先）03-3312-2111(代表)

ウ. その他

苦情解決第三者委員 山本 松江 （連絡先）03-3315-7059

東京都知的障害者育成会苦情受付窓口（連絡先）03-5389-2600

東京都社会福祉協議会 福祉サービス運営適正化委員会事務局

（連絡先）03-5238-7020

② 平成 30 年度苦情受付状況

日 時	場 所	内 容	対 応
12 月 21 日	樹木	第一和泉敷地内の樹木が成長しすぎて街灯が隠れてしまっているため伐採してほしいと近隣住民から杉並区へ苦情がありました。	第一和泉の建物の所有者は杉並区のため、杉並区障害者生活支援課に連絡し、後日杉並区から依頼された業者によって一部伐採されました。

③ 苦情解決第三者委員 山本 松江さん訪問日時等

※利用者で 65 歳を超える方のみ三者面談の立ち会いを依頼しました。

日 時	場 所	内 容	人 数
11 月 13 日	第一堀ノ内	三者面談同席	2 名
11 月 16 日	第二方南	三者面談同席	1 名
11 月 22 日	第一和泉	三者面談同席	1 名

6. 医務

(1) 健康管理

内科、耳鼻科、歯科は医師が来所し、眼科はバスをチャーターして利用者を医院へ連れて行きました。結果については個別に配布し対応しました。また、月初めには体重測定を行いました。

科目	実施月	実施機関	参加者
内科健診	10月	いりたに内科クリニック	61名
耳鼻科検診	9月	白い鳥医院	59名
歯科検診	1月	お口の介護相談室	54名
眼科検診	2月	おぎくぼ南口眼科	61名
施設健診	2月	高円寺保健センター	14名
予防接種 (職員含む)	10, 11月	いりたに内科クリニック他	72名

(2) 感染予防・対応

今年度については、施設内のノロウイルス感染は発生しませんでした。またインフルエンザ流行時(1月・2月)において、職員、利用者から数名発症した報告がありましたが、まん延には至りませんでした。その都度杉並区に報告しました。

- ① 施設内の清掃を1日1回行いました。
- ② 石鹸、液体石鹸を常備し、職員・利用者に手洗いとうがいを徹底しました。
- ③ インフルエンザ予防接種を希望者に行いました。

7. 危機管理

(1) 事故防止・ヒヤリハット

毎日職員終礼時にヒヤリハット、事故報告をあげてもらいその日のうちに状況と対応を職員間で共有しました。また毎月の職員会議では3所の事故報告を行うと共に、6カ月毎の事故報告書を作成し、集計分析し傾向と対応方法を確認しました。今年度も施設において各種保険(施設賠償保険、傷害保険)に加入して万が一に備えました。

	自傷	他害	転倒	バス内 他害	行方不 明	その他	ヒヤリ ハット	合計
第一	1	19	9	5	1	13	12	60
第二	0	0	0	0	0	1	1	2
合計	1	19	9	5	1	14	13	62

(2) 緊急時対応等

今年度は緊急な対応を行うことはありませんでしたが、緊急時の対応や連絡等について、運営会議内で確認しました。

(3) 情報漏えい対策

利用者、家族、職員の個人情報施設内で一括管理しました。また広報誌用写真、ビデオ撮影などにおいては、あらかじめ書面で利用者・保護者から承諾を得た方のみ掲載・撮影しました。

(4) 特定個人情報管理

個人情報（マイナンバー）利用開始に伴い、事業所における取扱者を選任し、安全管理の再点検、個人番号運用方法を確認の上、従業員等から適切な番号収集を行いました。

職 名	氏 名
取扱管理責任者（法人）	理事長 宮崎 幸雄
取扱責任者	施設長 下之蘭 俊一郎
取扱担当者	事務 辻村 佳子
取扱担当者	社労士 森田 涼子

8. 防災

(1) 自衛消防体制

消防計画における自衛消防体制の組織を確認し、職員にも役割を掲示し周知しました。また、消防用設備点検を外部のメンテナンス・サービスに依頼しました。

(2) 避難訓練

【第一和泉】

訓練名	指導者	実施日
避難訓練	防火管理者	5月25日、12月4日

【第一堀ノ内】

訓練名	指導者	実施日
避難訓練	防火管理者	7月19日、12月25日

【第二方南】

訓練名	指導者	実施日
避難訓練	防火管理者	4月9日、1月4日

(3) 大規模地震・災害対策

- ① 防災備蓄用品の食料品の賞味期限を確認し、備品の点検、整理をしました。

9. 家族（保護者）との連携

(1) 保護者連絡会

- ① 第一・第一堀ノ内・第二合同 5回実施
13時～15時方南会館、セシオン杉並にて行いました。

日時	内容	参加人数
4月11日	事業計画、第三者評価結果、満足度調査結果等	24名
5月23日	事業報告、通所交通費、行事予定等	21名
7月11日	行事予定、通所交通費等	17名
10月23日	送迎サービス、交通費、職員紹介等	20名
2月22日	ヘルプマーク・ヘルプカード説明等	19名

- ② 2月に「施設満足度アンケート」を実施しました。集計結果は平成31年3月の職員会議、4月のいずみ連絡会にて書面で配布し説明しました。

10. 地域との連携

(1) 地域交流

- ① 地域行事で自主生産品の販売の参加については、上記4、事業実績「施設外販売」を参照。今年度も数多くの地域行事に参加しました。
- ② 地域の方と利用者との交流の機会については、販売先での交流や公園清掃、施設まつりに留まり、新たな交流の機会を設定できませんでした。

(2) 地域関係団体・事業所との連携

① 地域事業者との連携

ア. 杉並区「しごとねっと」や「就労支援ネットワーク会議」、「地域法人連絡会」等には定期的に参加し情報の共有を行いました。また、区内の就労移行施設の見学、情報交換を行いました。

イ. 相談支援事業者とは、定期的な電話連絡の他に必要に応じて施設内にてケース会議や個別面談、入院先でのケア会議など関わりを持つことが出来ました。

ウ. 「杉並区手をつなぐ親の会」とは、親の会発行の情報誌の作成・梱包を毎月施設内にて行うことが出来ました。また、親の会主催の一日外出やクリスマス会に参加しました。

② 特別支援学校、地元中学校との連携

年間で19名の実習生を受け入れました。その後の入所説明会では、入所希望の生徒の担任教師と入所調整会議内で情報交換を行いました。また、その内2名の来年度入所が決まりました。地元中学校からの実習生を7名受け入れました。

③ グループホームとの連携

現在利用者 19 名がグループホームを利用中です。日々連絡帳にて情報交換を行いました。10 月には、利用者が通所途中で交通事故にあった際、グループホームの支援ワーカーと連携して対応しました。東京都手をつなぐ育成会のグループホーム担当の支援ワーカーとも定期的なケース会議を行い、情報交換を行いました。三者面談時には、グループホームの世話人にも参加してもらいました。

④ 東京都手をつなぐ育成会との連携

グループホームにおける支援ワーカーとの連携、都育成会新年会への参加、都育成会地域法人連絡会主催の研修会に参加、地域法人連絡会所属施設長との人事面での相談、都育成会運営の就労継続支援施設の施設まつりに出店、当施設との作業協力など数多くの連携を行いました。

⑤ その他

・「東京ビジョンアイクリニック阿佐ヶ谷」という眼科医院の待合室壁面に第二の自主製品を展示させていただけることになりました。

・「株式会社マジョルカ」との販売委託契約更新を行いました。第二方面の自主製品の販売を委託しました。

・自主製品販売で杉並区内の障害者施設の施設まつりに複数参加しました。

(3) 実習・ボランティア等受け入れ状況

① ボランティア受け入れ状況

第一	第二	合計
20 名	72 名	92 名

② 見学者受け入れ状況

第一	第二	合計
16 名	21 名	35 名

③ 研修・実習受け入れ状況

	第一	第二	合計
特別支援学校実習生	2 名	2 名	4 名
特別支援学校ミニ実習	4 名	0 名	4 名
中学生実習	7 名	0 名	7 名
高校生実習	2 名	0 名	2 名
大学生実習	1 名	0 名	1 名

在宅者	3名	0名	3名
合 計	19名	2名	21名

1 1. 会議・委員会

(1) 会議

会 議 名	回数	会 議 名	回数
職員会議(臨時含む)	12回	運営会議(臨時含む)	13回
第一和泉支援員会議	12回	第一堀ノ内支援員会議	12回
第二方南支援員会議	12回	工賃評定会議	2回
保護者連絡会	5回	研修報告(職員会議内)	12回
行事会議(職員会議内)	3回	事故報告(職員会議内)	12回

(2) 委員会

会 議 名	回数	会 議 名	回数
リスクマネジメント委員会 (運営会議内)	2回	虐待防止委員会 (運営会議内)	2回
工賃規程改訂プロジェクト委員会	7回	広報委員会	6回

(3) 地域との連携

会 議 名	回数	会 議 名	回数
すぎなみ仕事ねっと定例会・役員会(杉並区主催)	24回	杉並区障害者雇用支援ネットワーク会議(杉並区主催)	12回
東京都手をつなぐ育成会 地域法人協議会研修委員会	11回		

1 2. 研修計画

(1) 研修実績

① 所外研修

実 施 日	研 修 内 容	主 催 者	人 数
4月11日	マナースキル研修	東京都手をつなぐ育成会	1名
4月12日	コンプライアンス研修	東京都手をつなぐ育成会	1名
5月22日	kurumiru 研修	東京都福祉保健局	2名

5月24日	サポーターズカレッジ研修	NPO 人材開発機構	3名
5月30日	障害のある人の性と支援研修	すだちの里すぎなみ	1名
6月1日	インテリアライフスタイルリビング研修	メッセフランクフルトジャパン (株)	2名
6月30日	杉並区育成会レクリエーション	杉並区手をつなぐ育成会	1名
6月30日	杉並区親の会旅行	杉並区手をつなぐ育成会	1名
7月5,6日	世田谷区立砧工房旅行	世田谷区砧工房	3名
7月6日	権利擁護・虐待防止研修	杉並区保健福祉部	1名
7月10日	杉並区内施設見学会	杉並区保健福祉部	1名
8月23日	権利擁護・虐待防止研修	杉並区保健福祉部	1名
9月7日	ギフトショー研修	(株) ビジネスガイド社	2名
10月4日	食品衛生責任者研修	食品衛生協会	1名
11月28日	杉並区内新人職員研修	杉並区障害者生活支援課	1名
1月26日	リアン文教見学会	サポーターズカレッジ	1名
2月8,9日	箱根一泊研修	東京都手をつなぐ育成会	4名
2月15日	食品表示講習会	(株) ディーワークス	1名
2月25日	kurumiru 出品事業所業務説明会	東京都福祉保健局	1名
2月25日	就労支援研修	杉並区手をつなぐ育成会	1名
3月6日	食品適正表示推進者育成講習会	東京都福祉保健局	1名
3月22日	杉並区 31 年度動向説明会	杉並区	1名
合計			33名

② 所内研修

実施日	研修内容	講師等	人数
各所月1回	サポーターズカレッジ研修	インターネット講義	30名

(2) 職員育成

人材育成については、個別面談をもとに研修希望を募りました。研修の実施については必ずしも希望の研修に参加できるに至ってはいませんが、毎月の職員会議を研修報告にあて、研修内容を日常の支援フィードバックする機会を設けました。所内研修においては新人職員が多いため基本的な内容を行いました。

(3) 大会参加

実施日	研修内容	主催者	人数
7月13日	都大会	東京都手をつなぐ育成会	2名

1 3. 労務管理

(1) 職員健康管理

- ① 全職員を対象に生活習慣病予防健診、若年層健診を実施。
- ② 全職員を対象にインフルエンザ予防接種を実施。
- ③ 細菌検査（O157、サルモネラ菌、チフス菌、赤痢菌、パラチフスA）
対象者：自主生産品（せんべい）担当職員

(2) セクシャルハラスメント・パワーハラスメントの防止

相談受付の担当職員を設置して防止に努めた。研修参加にまでは至りませんでした。相談実績は各0件。

(3) メンタルヘルス

メンタルヘルス、ストレスチェック制度の確立には至りませんでした。

(4) 次世代育成支援

- ① 年次有給休暇簿を新しくすることで、有給休暇の日数をすぐに確認でき、計画的な取得が行われました。
- ② 施設祭り「いずみまつり」のときに来所を呼び掛け、職員の家族が来所しました。

1 4. 指導・監査・調査等

(1) 施設満足度調査を平成30年2月に実施しました。

「作業内容・作業支援」「個別支援計画の内容」「行事の内容」「お弁当の内容」「健康管理の内容」「建物の広さ、清潔さ」「職員の態度」について「満足」「だいたい満足」と回答した方が昨年度と比較して12項目中8項目において増加した結果となりました。

(2) 福祉サービス第三者評価の結果の反映

平成29年度に第三者評価をNPO法人市民シンクタンクひと・まち社で受審し、指摘された内容を改善・検討しました。（業務ごとのマニュアル整備、工賃の仕組み、災害時対応等）

1 5. その他

(1) 広報活動

広報誌は季刊誌として年4回発行しました。また、行事後にホームページのブログの更新を行いました。自社ホームページをリニューアルしました。

(2) 資金計画

- ・施設整備として、第一いずみのせんべい部屋に除湿機を設置、せんべい用秤を購入しました。また、第一和泉の受注作業用としてシーラーを購入しました。第一和泉の事務所と相談室のエアコンを購入しました。第一第二のコピー機を購入しました。

- ・職員給与には処遇改善助成金の一部を活用しました。
- ・社会福祉法人東京都共同募金会様より、第一和泉に洗濯機、第二に自主製品ディスプレイ棚を頂きました。

16. 決算

別紙